

博士課程教育リーディングプログラム採択事業
2018年度（平成30年度）金沢大学大学院人間社会環境研究科
文化資源マネージャー養成プログラム学生募集要項（日本人学生）

プログラムの概要

金沢大学大学院人間社会環境研究科では、平成25年4月から、博士前期課程と同後期課程を合わせた5年一貫の教育プログラムとして、「文化資源マネージャー養成プログラム」を実施しております。このプログラムは平成24年度文部科学省博士課程教育リーディングプログラム（複合領域型「多文化共生社会」）に採択された事業です。本プログラムの対象者は、年度ごとに一般募集する日本人学生4名と、本プログラム連携機関である中国・北京大学、タイ・チェンマイ大学、インドネシア・バンドゥン工科大学、ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校の4大学から募集する留学生4名の計8名です。

理念と目的

本プログラムは、人類文化の多様性を尊重しつつ、世界各国・各地域で継承されてきた文化資源の将来に向けての意義と有用性を探求し、特定の人びとにとつてのみならず人類全体に向けたその活用策を案出し実践する人材、すなわちローカルな文化資源のグローバルな活用を可能にする資源発掘・管理・活用策提案能力を身につけた「文化資源マネージャー」を養成することを目的としています。

養成すべき人材像

本プログラムでは、ほとんどを国際的な編成チームで行うことで、コミュニケーション能力の向上と相互理解の基盤を築くだけでなく、出身各国の文化特質を確認し長所を見だし発信する能力を鍛えます。そして、「形態文化資源」「伝承文化資源」「保護・継承・活用」に関する知識と国際的・総合的・学際的視野を備え、マネジメント能力、ファシリテート能力、ネットワーク形成能力を備えた文化資源マネージャーの育成を目標としています。

期待される活躍の場は、文化行政を管轄する中央政府や地方政府、ユネスコを始めとする国際文化機関、博物館、伝統資源を活用する民間企業などです。

募集人員 : 4名

出願期間 : 2018年（平成30年）2月28日（水）～3月6日（火）

*毎日9時から17時まで。

（郵送による場合も期限内に必着とします。）

試験日時 : 2018年（平成30年）3月13日（火）10:00～17:00

出願資格

2018年度（平30年度）金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）の入学者選抜試験に合格した者。ただし、在留資格が「留学」である者は除く。

本プログラム希望者に対して審査を行い、成績優秀者4名をその年度のプログラム対象者とします。

出願書類

- ① プログラム志願票（所定の用紙）
- ② 研究計画書（所定の用紙）
- ③ 卒業論文等の写し 3部

卒業論文（写し）又はそれに代わる研究論文もしくはレポート（2,000字以上、ただし欧文の場合は500語以上）を3部提出してください。）

- ④ 外国語検定試験（英語）の成績証明書の提出について

TOEFL iBT 80点相当（TOEIC700点相当）の英語能力が求められます。TOEFL等の成績証明書があれば提出していただきますが、証明書が無い場合も求められる英語能力相当を有していれば受験が可能となります。

* なお、選考にあたっては、本研究科（博士前期課程）第1期募集・第2期募集の出願書類についても参考にします。

出願手続

- ① プログラム志願者は、上記に記載されている書類を一括して提出してください。
- ② 出願書類を郵送する時は、書留便とし、封筒の表に「文化資源マネージャー養成プログラム志願票」在中と朱書きしてください。
- ③ 出願書類提出先
〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学 人間社会系事務部学生課 入試係
- ④ 出願書類に不備がある場合は受理しません。

選 考 :

本研究科博士前期課程の一般選抜試験で選考した合格者のうち、本プログラムを希望する者の中から、書類審査（卒業論文含む）及び口述試験（英語）により選考する。

合否結果通知 : 2018年（平成30年）3月22日（木）予定

入学時期 : 2018年4月を原則とする。

検定料 : 不要

入学料 : 徴収しない

授業料 : 徴収しない

基本カリキュラム

博士前期課程に相当する1・2年次は、本研究科博士前期課程の人文学専攻・文化資源学コースに在籍し、その学際総合型プログラム「文化資源学」で開講される科目（下表）を中心に最低30単位修得するとともに、研究レポートを提出して審査を受け、3年次に進学します。なお本研究科博士前期課程の他の専攻（法学・政治学専攻，経済学専攻，地域創造学専攻，国際学専攻）に在籍しながらも本プログラム対象の学生となることはできます。その際にはその所属する専攻の修了要件を満たした上で、さらに人文学専攻の「文化資源学」プログラムで開講する科目を、必修科目を含め最低22単位履修することになります。

学際総合型プログラム・文化資源学関連科目（*は必修）	専門基礎科目	文化資源学概論 1・2*	各1（単位）
		伝承文化資源学 I 1・I 2・II 1・II 2・III 1・III 2	各1
		形態文化資源学 I 1・I 2・II 1・II 2・III 1・III 2	各1
		文化資源情報学 I 1・I 2・II 1・II 2・III 1・III 2	各1
		文化資源学現地研修*	4
	専門応用科目	伝承文化資源学演習 I 1・I 2・II 1・II 2	各1
		形態文化資源学演習 I 1・I 2・II 1・II 2	各1
		文化資源情報学演習 I 1・I 2・II 1・II 2	各1
		文化資源学実習 I 1・I 2・II 1・II 2*	各1

博士後期課程に相当する3・4・5年次は、本研究科博士後期課程の人間社会環境学専攻に在籍し、同専攻の開講する科目を最低16単位修得し、専攻の課す修了要件を満たした上で学位論文を提出します。

奨励金

1年目：145,000円（月額）×12月＝1,740,000円（年額）

2年目：50,000円（月額）×12月＝600,000円（年額）

大学院活動に必要な支援として奨励金を支給します。

支給においては、以下の要件を満たしていることが必要です。奨励金を支給された者はウェブサイトにて氏名を公開します。

なお、この奨励金は、入学後、2年間は保証されます。3年目以降については、未定です。

(1) 支給年度において、博士課程教育リーディングプログラムにおける、新たな学位を授与するプログラム（以下「学位プログラム」という。）に選抜された者であること、もしくは1年間継続的に当該プログラムを履修していること。

(2) 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）として採用されていないこと。

- (3) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を受給していないこと及び貸与を受けていないこと。
- (4) 本学独自の奨学金を受給していないこと。ただし、本学が設ける基金等による奨学金等であって、授業料を援助するためのものについては、この限りではありません。
- (5) 平成30年度までは奨励金受給期間中に報酬（アルバイト料を含む。）を受給しないこと。ただし、研究成果を公表することに伴い生じる著作権料等、博士課程教育リーディングプログラム責任者（以下「プログラム責任者」という。）が特に認めた場合については、この限りではありません。
- (6) 本奨励金は雑所得の扱いとなり、税務署に所得税の確定申告が必要となります。

また、市区町村からの通知にもとづき住民税を納付しなければなりません。

※ 住民税は前年の1月から12月まで1年間の所得を基準に税額が計算され、毎年6月に市区町村から税額通知書（納付書）が送られてきます。この納付書により市区町村役場や金融機関などの窓口で支払います。

その他

本プログラムを支える機関

本プログラムは、金沢大学の交流協定校であるアジア4大学を始めとする海外機関、また金沢大学の地元である金沢市や石川県、さらに国内の代表的な文化機関である国立民族学博物館やユネスコ・アジア太平洋無形文化遺産研究センターの協力を得て実施します。本プログラムに直接関わる海外協定校は中国・北京大学、タイ・チェンマイ大学、インドネシア・バンドゥン工科大学、ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校であり、それぞれの国を代表する大学です。ここからは毎年留学生を本プログラム参加者として推薦いただくとともに、海外研修・調査地の斡旋や国際ワークショップの開催でも協力して実施します。

またユネスコ・クラフト創造都市である金沢市や世界農業遺産に認定された能登地方を有する石川県は、文化資源の利活用を学ぶ上での格好の研修・調査対象地となっています。さらに、国立民族学博物館やユネスコ・アジア太平洋無形文化遺産研究センターにも当プログラムへの協力を仰ぎながら、教育を進めています。

プログラム担当教員

中村慎一	プログラム責任者・考古学	金沢大学
鏡味治也	プログラムコーディネーター・文化人類学	金沢大学
藤井純夫	考古学	金沢大学
中村誠一	考古学	金沢大学
森 雅秀	仏教学・比較文化学	金沢大学
西村 聡	日本文学	金沢大学
西本陽一	文化人類学	金沢大学
上田 望	中国文学	金沢大学
矢口直道	東洋建築史	金沢大学
足立拓朗	考古学	金沢大学
大友信秀	知的財産法	金沢大学
正木 響	世界経済論	金沢大学
菅原 裕文	西洋美術史	金沢大学
河合 望	考古学・博物館学	金沢大学

中野 涼子	国際関係論	金沢大学
田村 うらら	文化人類学	金沢大学
関 雄二	考古学・文化人類学	国立民族学博物館
大貫美佐子	文化政策	ユネスコ・アジア太平洋無形文化遺産研究センター
河原 清	都市政策論	金沢市
趙 輝	考古学	北京大学
Yos Santasombat	文化人類学	チェンマイ大学
Dudy Wiyancoko	プロダクトデザイン	バンドゥン工科大学
Lam Thi My Dzung	考古学	ベトナム国家大学ハノイ校

金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター所属の特任教員

問い合わせ先

ご質問があれば、下記問い合わせ先に相談してください。

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学 人間社会系事務部学生課 入試係

TEL : 076-264-5601

FAX : 076-234-4167

e-mail : n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp